FCB15／FCB20 ノイズサイレンサー

≪空圧ハンドブレーカ排気騒音低減機材≫

NETIS登録商品

NETIS登録番号
CB-080034-A

★新製品

FCB15用

87.3dB(L5)
未装着時の騒音レベル（7.5m地点）

→ **79.8dB(L5)**
ノイズサイレンサー装着時の
騒音レベル（7.5m地点）

約7.5dB低減

FCB20用

94.6dB(L5)
未装着時の騒音レベル（7.5m地点）

→ **86.0dB(L5)**
ノイズサイレンサー装着時の
騒音レベル（7.5m地点）

約8.6dB低減

空圧式ハンドブレーカは、路上工事等のアスファルトやコンクリートの取り壊し作業に使用する小さなエアツールですが、その作業騒音が商業地域では営業の妨げや住居地域では生理的､心理的な苦情となって深刻な社会問題に発展します。そのような問題を解決するためブレーカ排気騒音低減機材**『ノイズサイレンサー』**を開発しました。
ブレーカ本体の排気口より圧縮空気が排出されるときに発生する不快に感じる100～1000Hzの周波数帯域の騒音を大幅に低減させることを可能にしたことにより
FCB20（20kg級）で騒音値94.6dBから86.0dBに低減
FCB15（15kg級）で87.3dBから79.8dBに低減することを実現しました。

■新技術として国土交通省の【NETIS】に登録。
登録No. CB-080034-A

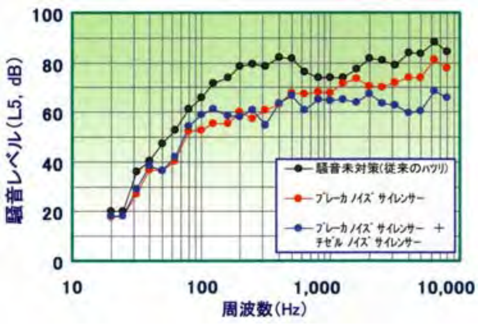
↑ FCB15用　ノイズサイレンサー
（FCB15ハンドブレーカ本体は含まれません。）

FRD FURUKAWA 古河ロックドリル株式会社

ブレーカ ノイズ サイレンサーの騒音低減性能

周波数分析結果

FCB20に於ける周波数分析結果



騒音測定結果

騒音対策	騒音レベル		原音からの低減量	
	FCB15	FCB20	FCB15	FCB20
騒音未対策（従来のハツリ）	87.3	94.6	ー	ー
ブレーカノイズサイレンサー	79.8	86.0	7.5	8.6
ブレーカノイズサイレンサー＆チゼルノイズサイレンサー	ー	77.0	ー	17.6

注意：本データは、実測値であり補償値ではありません。
騒音レベルは、7.5m地点、マイクロフォン高さ1.2mで測定したデータです。

チゼルノイズサイレンサー

多目的防音パネル

国土交通省　新技術情報提供システム【NETIS】登録商品

『ノイズサイレンサー』のほかに、騒音低減（吸音）機材として下記商品が登録されています。組み合わせることでより高い減音効果を発揮します。

■チゼルノイズサイレンサー （NETIS登録No. CB-080035-A）

ブレーカのハツリ作業時のチゼル部分から発生する騒音を対象に、作業者の手間を要することなく簡単に据付け・撤去ができる折畳式の騒音低減機材です。内面を吸音材でできた方形の壁で囲み減音します。

■多目的防音パネル （NETIS登録No. CB-080036-A）

ブレーカのハツリ作業以外の路上工事等で発生する作業騒音源にも対応できる組立式防音パネルです。

使用及び安全上の注意事項について

使用上の注意

本製品は、古河製ハンドブレーカFCB15およびFCB20専用です。ご購入に当たってはお持ちのハンドブレーカのメーカーをご確認ください。
本製品は、路上工事での騒音対策を目的とする製品として設計されています。他の目的や用途には使用しないでください。
本製品を使用する際は、「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。特に以下に記載した事項を必ずお守りください。記載事項に反した使用をすると、本製品が破損し正常な使用ができなくなります。

① ノイズサイレンサーを取付けてハツリ作業を行う際に使用するコンプレッサは、必ずアフタークーラー付きの機種をご使用ください。
アフタークーラー付き以外のコンプレッサを使用してハツリ作業を行うと、圧縮空気中に含まれる水分によって圧縮空気通過部分吸音フォームに水分が吸着され、騒音の吸音効果が損なわれます。雨天日には、吸音フォームに雨水が吸収されて重くなり、下部方向に押し出されて排気口を塞ぐことでブレーカの作動不良が起こる恐れがありますのでご使用しないでください。また、冬季においては、吸音フォームに吸着された水分が凍結することにより、吸音フォームの破損並びにハンドブレーカ自体の故障を発生させます。水分除去のため、ドライエア仕様のコンプレッサ使用を推奨します。

② 本製品は、ハンドブレーカをご使用になるまえに装着してください。作業終了後は、必ず本製品をハンドブレーカから取り外してください。

③ 本製品をハンドブレーカに装着したままの状態で、放り投げたり、倒したり、金属もしくはコンクリートの様な固い物にぶつけないでください。本製品の外筒（ケース）が変形して、正常な状態での使用ができなくなります。

④ 本製品を使用しない時は、半割となっている2つの本体外筒を合わせて円筒の状態にし、付属のボルトを本体外筒にある外筒締め付け部のナットに仮締めした状態で保管してください。

⑤ 本製品にハンドブレーカを装着する際は、本製品への装着方向及び装着位置を間違えないように注意をお願いします。装着方向・位置を間違えると、外筒の内部にある吸音フォーム等の吸音部材を破損させる恐れがあります。

本製品をハンドブレーカに取り付けて使用するときは、２つの本体外筒（ケース）を合わせて円筒の状態にします。本体外筒の外筒締め付け部のナットに、付属のボルトを取り付けて回し付け、円筒状となった外筒の合わせ面より、圧縮空気が漏れない程度の締め付け強さで締め付けてください。

作業上の注意

現場での作業時は、適切な保護具（ヘルメット、手袋、安全靴、防塵メガネ、防音ヘッドホーン等）及び施工器具を使用してください。
本製品をハンドブレーカに取り付けて使用するときは、ハンドブレーカがノイズサイレンサーに対して適正な装着位置に装着されているかを確認した後に、本体外筒（ケース）を合わせて円筒の状態としてください。その後に、モンキーレンチ等を用いて、付属品のボルトを本体外筒の外筒締め付け部のナットに回し付け、円筒形状となった外筒合わせ面より、圧縮空気が漏れない程度の締め付け強さでボルトを締め付けてください。
（締め付けすぎると、締付け部の金具部が変形しますので注意願います。）

その他

半割りとなっている外筒(ケース)の上部に取り付けてある上部遮音フォームと下部に取り付けてある圧縮空気通過部分吸音フォームは消耗部品です。フォームが劣化して防音性能が下がってきた場合は、フォームを購入し交換してください。
本製品の仕様・形状は、改良のため予告なく変更する場合があります。

■ 販 売 元

古河機械金属グループ

FRD FURUKAWA 古河ロックドリル株式会社

本社	〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目5番3号		☎ 03(3231)6961
札幌支店	☎ 011(786)1800	北陸出張所	☎ 076(238)4688
東北支店	☎ 022(384)1301	関西支店	☎ 06(6475)8251
関東支店	☎ 027(326)9611	広島営業所	☎ 082(832)3541
東京支店	☎ 048(227)4560	九州支店	☎ 092(948)1888
名古屋支店	☎ 0568(76)7755	鹿児島出張所	☎ 099(262)3505

弊社ホームページは、 古河ロックドリル 検索

■ 製 造 元

大有建設株式会社

お問合せは

FCB15&20 ノイズサイレンサ-J1105-F2

このカタログは再生紙を使用し、植物油インクで印刷しています。 VEGETABLE OIL INK